



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちは変えられる
アジア太平洋会長主題：アクション
東日本区理事主題：為せば、成る
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである
甲府クラブ会長主題：肩を組んで、歩み行くワイズ

Moon Sang Bong (韓国)
田中 博之 (東京多摩みなみ)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
廣瀬 健 (甲府21)
ピーター・マウントフォード

甲府ワイズメンズクラブ
2019 5月会報
●今月の強調目標
(EF/JEF)

■今月のことば■

新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。

(マルコによる福音書 2章-22節)

済本 文雄 会員選

今月の例会案内

日時：2019年5月14日(火) 18:45~20:45

会場：ホテル談露館

担当：A委員会

司会：廣瀬 静男 君

プログラム

- ・開会点鐘 P・マウントフォード 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条 一同
- ・会長挨拶/ゲスト紹介 P・マウントフォード会長
- ・今月のワイズ用語
- ・今月のことば/食前の感謝 済本 文雄 会員
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話 「御嶽古道の話」
御嶽古道復元の会 横山 義宏 様
- ・第22回山梨YMCAチャリティーランについて
山梨YMCA 露木 淳司総主事
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 P・マウントフォード 会長

〈卓話講師プロフィール〉

- 横山 義宏 様
- ・1945年生まれ
- ・農事組合法人ゆうのう敷島理事
- ・株式会社ソイワールド取締役
- ・御嶽古道復元の会会員
- ・中部横断道路沿線市町村活性化協議会会員

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

会長 P・マウントフォード

4月30日、平成の最後の日は、あいにくの雨です。

4月27日の富士五湖クラブのフライングディスク大会に行く途中で、会長の役目の中ではブリテン挨拶原稿を書くのが一番苦勞なことと同乗者にこぼしました。すると、「今回は新元号についてどうですか？イギリスにはないでしょう」という提案がありました。

確かに、元号はイギリスにありませんが、過去の王・女王の名前を形容詞化して、例えばビクトリア朝、統治下の時代を元号のように名付けます。そして、日本と同様に王様・女王様の即位は新時代を迎え、お祭りのようにお祝いします。記念グッズ、ストリートパーティもあり、新時代のムードが湧いてきます。けれども、現在のエリザベス2世は私の生まれる前、1952年に戴冠されましたので私はその新時代歓迎を経験していません。明日(5月1日)は新時代を日本で初めて迎えます。

5月と6月例会を挟んで東日本区大会が6月1・2日に東京で開催され、山梨YMCAチャリティーランが6月8日にあります。繰り返しで失礼ですが、6月8日にチャリティーランの会場、小瀬スポーツ公園でJ2・VF甲府の試合があり、混雑を避けるためにチャリティーランは30分前倒しスタートと決定されましたので、設営準備はいつもよりも30分早くなります。ご了解ください。

4月のデータ

| | | | |
|-----------------|-----|----------|--------|
| 会員数 | 35名 | メネット | 1名(大澤) |
| 内広義会員 | 1名 | メーキャップ1名 | (田草川) |
| 例会出席会員 | 23名 | 出席率 | 71% |
| ニコニコボックス 5,302円 | | | |

4月例会報告

標 克明

4月例会は、4月9日(火)ホテル談露館において、定刻通り開会しました。司会は渡辺徳之さん、今月の言葉は、退院間もない大澤英二さんが担当されました。創世記の「初めに、神は天地を創造された」を中国語(太初上帝創造宇宙)の書を披露されながら

の解説でした。新元号が「令和」と発表された後で、過去の元号は中国の古典からの引用であるが、今回は万葉集とのこと、その選者は中西進氏ではないかと噂されているが、大澤メネットが高校生の時に、その中西氏から国語を教わったエピソードなども交えて話されました。



ワイズディナーの後、山梨YMCA露木淳司総主事から、来年新築移転する山梨YMCA新会館の概要と山梨YMCAの事業について、現況、今後の見通し等をパワーポイントを使って説明がありました。資金が足りない分は募金で賄うので協力をお願いしますとのことでした。

続いて、来年70周年を迎える当クラブの記念事業について、石川博実行委員長から、これまで役員会で協議された概要の説明があり、テーブル毎に話し合いが行われました。ここでの意見やアイデアを参考にしながら、今後具体的に進めて行くことになりました。

Happyバースデーを祝し、甲府ワイズの歌を歌って、定刻に閉会しました。

(^_^) ニコニコメッセージから

◎秋山仁博:4月1日に会社の引っ越しも終わり、金川工業団地にて新しくスタートを切る事が出来ました。皆様よろしくお願ひ致します。

会社新住所-笛吹市御坂町下黒駒1550-2

TEL:055-244-8070 FAX:055-244-6775

◎石川博:小生が一部執筆、編集した「こうふ開府500年記念誌」が発刊しました。役所が発行したとは思えないビジュアルな歴史の本です。機会がありましたらご覧下さい。

◎大澤英二:大腸がんと手術を受けましたが、お陰さまで退院しました。皆様のお見舞いに心より感謝します。

◎小倉恵一:大澤メンの力強いお話(今月の言葉)が聴けてよかったです。(同様多数)

4月役員会報告

▼日時:2019年4月23日(火)午後6時30分～8時

▼場所:山梨YMCA

▼出席者:マウントフォード・田草川・仙洞田・丹後・小倉・標・廣瀬・石川(博)

報告事項

①4月例会報告:データは1ページ、内容は左段参照

②その他の報告

(1)4/6-4/7東日本区役員会(東山荘)仙洞田出席、2020-21年度の東日本区大会を甲府21クラブがホストする。

(2)4/11山梨YMCAチャリティーラン実行委員会、出席:マウントフォード、大澤、廣瀬、仙洞田

(3)今年度の出席率、インビテーションデータをあずさ部会員増強事業主査に報告済み(仙洞田書記)

(4)東日本区からのEMCに関するアンケート(クラブ向け)に回答済み(マウントフォード会長)

協議・確認事項

①5月例会プログラムの件:(1)卓話:御嶽古道の話(横山善宏氏)(2)チャリティーラン直前打合せ(露木総主事)。

②70周年記念事業の件:石川博70周年記念事業実行委員長より、4月例会でのテーブル毎の協議結果の報告があり、これを受けて協議した。

(1)実行委員会組織を①記念誌部会 ②記念例会部会

③記念事業部会とし、新クラブ設立部門は、記念事業部会の中に位置づける。

(2)新クラブ設立について、唐突感がある会員もいるので、丁寧に説明する必要があるのではないかと。

(3)記念事業関連で、YMCA新会館への寄付をクラブ基金から拠出することを承認。

(4)会計については、過去の実例を参考にして、経常会計及び基金を利用する。

以上の事等を今後の実行委員会に反映する。

③6月例会プログラムの件:チャリティーラン、区大会、今年度の委員会活動報告等、詳細は次月役員会で協議

④山梨YMCAチャリティーランの件:会員の当日参加欠を5月例会前にメールで確認(廣瀬)し、例会で各担当の確認をする。

⑤アジア・太平洋地域大会募金について:東日本区から協力要請あり、クラブ広告(3万円枠)を出すことを承認。

⑥その他

(1)入会歴の浅い会員から、ワイズの活動や用語等について知りたいとの要望に対して、毎例会で時間を設けて解説したり、過去あったようにブリテンでも掲載する。

(2)今後の検討課題として、例会場を談露館だけでなくYMCAも利用したらという提案があった。

⑦今後の予定について、出席者の確認をした。

(書記:仙洞田安宏)

◆◆◆◆ 甲府ワイズ会員投稿 ◆◆◆◆

眠れる獅子よ、目を醒ませ、街に出よ！

～新クラブ設立挑戦への思い～ 仙洞田安宏

数年前の東日本区会員増強事業主任の方針に、「各部で新クラブ設立を想定して、エクステンションを考えよう」という、言わば“仮想クラブ構想”がありました。残念ながら目立った反応はなかったのですが、その時、自分だったらどこに、どのようなクラブを作ろうかと考えた事がありました。思いつきで、甲府駅北口の街づくりに、奉仕を通じて貢献するクラブができないものか、と想像しました。

前年度のクラブ総会(2017年7月)で、EMC委員長として「北口地域を活動拠点にした新クラブ設立を模索する」を活動方針に掲げました。その後、NPO法人北口まちづくり委員会の内藤有一会員と、何度かその可能性を議論しました。そんなことを、生前の平原さんに話したところ大いに共感され、「70周年記念事業として、是非成し遂げてくれ」と、会うたびに言われました。

平原さんは、富士五湖、長野の両クラブを、50周年、60周年の記念事業として、その設立に多大な貢献をされました。私も裏方として関わりましたので、新クラブを設立することの困難さは身をもって承知しています。そんな困難を承知で、なぜ新クラブ設立に挑戦するのか、以下に述べてみます。

「なぜ会員の拡大が必要なのか？」という問いに、私の敬愛する先輩ワイズは次のように答えています。「我々はワイズ運動の発展を望む。この組織に所属して会員同士の交流を楽しみながら、同時に人道的な奉仕活動を展開しているこの組織を大いに愛しており、この運動が広く社会に広がることを強く望んでいるからだ。運動の影響力を高めるためには組織の拡大、会員数の拡大が必要である。」

まさにその通りだと思います。これは新しいクラブを創る(Extension)ことだけでなく、クラブ内の会員を増やす(Membership)ことも同様です。

それでは、何故新クラブなのか？ということですが、周知の通り、近年はワイズのみならず、ロータリー、ライオンズ等の国際的な奉仕団体の会員は減少しています。これは社会の有り様や奉仕に対する意識の変化、多様化等に起因する所が大だと思えますが、これに対して既存のクラブではこれまでの体質のまま何の変革もせず、故にこれらの変化に対応することが困難ではないかと思えます。

そんな中、ワイズ国際協会が、新クラブの設立要件として会員数を15名以上から5名以上へとハードルを下げたことは、これまでのワイズの在り方を見直す大きな変革だと思います。新しいクラブづくりに個性と多様性を持たせる意図があるのではないかと思います。従って、今回の新クラブ構想も、既成概念に捕われる事なく、大胆な発想の転換をする必要があります。それがワイズが未来に向かって

生き延びるための一つの道と考えます。

以前、あずさ部長をされた方が、部内の各クラブの特徴を食べ物(料理)に譬えたことがあり、甲府クラブを“老舗料亭の会席料理”と評されました。“先付けから始まる味も量も備えた格式あるフルコース。どこへ出しても誇れる料理なのに門外不出”というものです。翻って現在の甲府クラブはどうでしょうか。“会席料理”は賞味期限切れになったのでしょうか。今こそ、70年間煮込んできた“秘伝のたれ”に、新しいスパイスが必要な時だと思えます。

甲府クラブはかつて、“眠れる獅子”と揶揄されていたそうです(布能寿英著・甲府ワイズ物語)。私は言いたい、“眠れる獅子よ、目を醒ませ、街に出よ!”と。

第9回 障害者フライングディスク競技大会in北麓に参加

廣瀬 静男

4月27日(土)、富士吉田市のパインズパークで開催された標記大会にお手伝いで参加しました。

9:50より開会式が行われ、フライング体操の後すぐに競技が開始。アキュラシーとディスタンスの二つの競技を行った。アキュラシーは規定の距離に置いた輪に投げたディスクが何枚通るかを競う競技、ディスタンスはどこまで飛ばせるか距離を争うもの。マウントフォード会長は始投式に参加、甲府クラブは参加16チームの表彰(メダル、参加賞のお菓子を渡す)と、みんなの健闘をたたえて万歳をする係を担当しました。

障害を持つ参加者はみんな一生懸命に競技を行いました。日頃から褒められるという機会が少ない障害者はみんなからお褒めの言葉をかけてもらえ本当にうれしそうでした。毎年楽しみにしていて、去年のメダルをにかけてきた人もいました。

主催の富士五湖クラブは少ない人数ながらも全員が協力し、各自の役割を確実に実行し、まとまりがあると感じられました。終わり近くになり雨が降ってきましたが、何とかほぼ予定の工程を終わらせることができました。多くの障害者、健常者がともに楽しんだ貴重な一日でした。参加した健常者は障害を持つ人たちから大きなパワーをもらったことと思います。多くのボランティアの協力があってこのイベントが成り立っています。回を重ねる度に大きくなっていくこの大会がいつそう発展することを祈ります。

甲府参加者:マウントフォード・石川博・仙洞田・廣瀬



始投式のマウントフォード会長

三クラブ合同メネット会開催

甲府クラブメネット会会長 山崎明子

4月16日(火)、前日の強風が吹き荒れたのとは違い、青空が広がり絶好の行楽日よりの日、甲府21メネット会の主催で三クラブ合同メネット会が開催されました。

甲府21ワイズメンのご好意による大型バスで甲府駅を出発、韮崎大村美術館を見学、花と実企画展や大村智記念室で、ノーベル賞受賞の功績や趣味で集めた美術品の数々を時間の許す限りゆっくり見て廻りました。その後、富士山、雪に覆われた南アルプス、八ヶ岳の景色を見ながら、「幸福の小径」を散策しました。

お昼は韮崎のうなぎの専門店「八嶋」で美味しい昼食を頂きながら交流を深めました。

今回は、はるばる盛岡から東日本区メネット委員長の井上優子さんが参加下さいました。東京八王子=6名、甲府21=15名、甲府クラブ=4名の参加でした。来年は甲府クラブメネット会の担当です。メンの方にもご協力頂き、有意義な会にしたいと思っております。



これからの行事予定

| | |
|---------------|------------------------|
| 5月28日(火) | 5月役員会(山梨YMCA) |
| 6月1日(土)・2日(日) | 東日本区大会(東京・代々木オリエント) |
| 6月6日(木) | チャリティーラン実行委員会(山梨YMCA) |
| 6月8日(土) | 第22回山梨YMCAチャリティーラン(小瀬) |
| 6月11日(火) | 6月例会(ホテル談露館) |
| 6月15日(土) | 山梨YMCA定期総会(山梨YMCA) |

5月 Happy Birthday

| | |
|------|--|
| メン | 金丸さぶろう(12日) |
| メネット | 秋山清美(11日) 渡辺広子(21日) 標 恭子(24日) 大澤祥子(28日) |

5月 Wedding Anniversary

| | |
|--------------|--------------|
| 石川和弘♡てる子(4日) | 武田信男♡道子(11日) |
| 遠藤順彦♡充子(14日) | 中島達人♡雅子(19日) |
| 秋山仁博♡清美(26日) | |

山梨YMCAだより

創立記念日を迎えて

総主事 露木 淳司

今年も5月1日がやってきました。山梨YMCAにとってこの日は特別な日です。73年前のこの日、終戦直後の甲府の地にYMCAが産声を上げました。40年史「荒野に水わきいで」に当時の様子が詳しく書かれています。YMCAというのは日本の各地にあります。必ずしもすべての県にあるわけではありません。おとなりの長野や静岡にはありませんし、東北地方、日本海側、そして四国などではYMCAのない県がたくさんあります。そんな中でなぜ山梨にYMCAができたのでしょうか。明治の中頃、カナダメソジスト系の宣教師が笹子峠を越えて訪れ、キリスト教を根付かせたことがルーツのようです。甲府教会や山梨英和の誕生を経て、山梨各地に教会が誕生していきます。そんな歴史の中で戦争があり、賀川豊彦らの影響を受けながら、全国でも稀に見るハイスクールY運動(通称ハイY)の力も借りて、YMCAが生まれ育っていったのではないかと推察します。

そんなことに思いを馳せながら、毎年この創立記念日にこの山梨の地にYMCAがあることを喜び賛美する祈禱会が開催されています。今年も17人のYMCAをこよなく愛する有志の皆様にお集まりいただくことが叶いました。残念ながら今年には出席できませんでしたが、当時を知る人々の貴重な話を聞くことも楽しみの一つとなる会です。とりわけ今年には現会館での最後の機会となりました。来年はいよいよ新会館となり、翌2021年には創立75周年の記念の式典となります。皆様、ぜひこの創立記念日を覚えて大勢ご出席いただき、共に祈り、これからのYMCAの在り方についてご指導いただければ幸いです。



今月のワイズ用語

EF/JEF (イー・エフ/ジェイ・イー・エフ)

EFは、Endowment Fund(エンダウメントファンド/信託基金)の略で、国際ワイズダム発展のための特別基金。記念すべき出来事や、慶弔事などの折に、寄付金を国際協会に送金し積み立てる。US\$ 120以上の寄付の場合、国際が永久保管するゴールデンブックに記録されます。

JEFは日本版EFで、Japan East Y's Men's Fund(東日本区ワイズ基金)の略。献金はEF同様個人、クラブなどどなたでもできます。①地震などの災害時の緊急支援 ②区の長期または短期プロジェクトの資金 ③その他ワイズ存亡の危機に対処するための資金として積み立てられています。お子さんやお孫さんの誕生や結婚、金婚式や銀婚式などの祝い事等、記念になる出来事があった時におすすめて。2019年4月現在、約1,500万円の基金を有しています。